



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 世紀東急工業株式会社
 コード番号 1898 URL <https://www.seikitokyu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 川野 隆紀

TEL 03- 6672- 9421

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,950	12.2	2,236	55.5	2,230	55.6	2,007	23.5
2020年3月期第2四半期	31,139	4.9	1,438	3.4	1,433	2.9	2,625	130.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,038百万円 (23.6%) 2020年3月期第2四半期 2,669百万円 (111.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	49.79	
2020年3月期第2四半期	65.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	70,629	36,818	52.1	912.54
2020年3月期	74,656	36,632	49.1	909.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 36,818百万円 2020年3月期 36,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		47.00	47.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,500	8.7	6,100	2.3	6,000	0.1	4,900	25.1	121.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	40,414,407 株	2020年3月期	40,414,407 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	67,335 株	2020年3月期	119,939 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	40,317,010 株	2020年3月期2Q	40,309,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は2020年11月30日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 2021年3月期の個別業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,800	8.9	5,600	1.0	4,600	△25.1	114.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
四半期個別受注の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、依然として厳しい状況が続きました。

道路建設業界におきましては、防災・減災やインフラの老朽化対策工事等により公共投資は底堅く推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により民間設備投資が減少傾向となるなど、引き続き予断を許さない事業環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、計画最終年度となる「中期経営計画（2018-2020年度）」に基づき、中核事業の競争力強化に注力するとともに、将来における事業環境の変化に対しても迅速、的確、柔軟に対応できる強固な経営基盤の構築に向け、各種施策を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高（製品売上高および不動産事業等売上高を含む）は418億93百万円（前年同期比8.1%増）、売上高は349億50百万円（前年同期比12.2%増）となりました。また、損益面につきましては、経常利益は22億30百万円（前年同期比55.6%増）となりましたが、前年同期に特別利益として独占禁止法関連損失引当金戻入額14億48百万円を計上していたことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年実績を下回る20億7百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

当社グループにおける建設事業および舗装資材製造販売事業におきましては、第1四半期から第3四半期に比べ、第4四半期の売上が占める割合が相対的に高く、一方、事業運営にかかる費用については年間を通じて恒常的に発生することから、当社グループの売上および損益の状況は季節的に大きく変動いたします。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し40億26百万円減少の706億29百万円となりました。売上債権が減少したことなどにより流動資産は40億35百万円の減少となる一方、アスファルトプラントの設備更新等による有形固定資産の増加などにより固定資産は8百万円の増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し42億11百万円減少の338億11百万円となりました。流動負債は、仕入債務が減少したことなどにより38億21百万円の減少となり、また、長期借入金や退職給付に係る負債の減少などにより、固定負債は3億90百万円の減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、期末配当金の支払により18億93百万円減少いたしましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益20億7百万円の計上や退職給付に係る調整累計額の変動などにより、前連結会計年度末と比較し1億85百万円増加の368億18百万円となりました。この結果、自己資本比率は52.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、税金等調整前四半期純利益23億8百万円を計上したことに加え、売上債権の回収が進み、完成工事未収入金や売掛金が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは、66億15百万円の資金増加（前年同期は83億33百万円の資金増加）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、舗装資材製造販売事業にかかるプラント設備を更新したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは16億63百万円の資金減少（前年同期は13億82百万円の資金減少）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間におきましては、期末配当金の支払に加え、借入金の一部返済を実施したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは21億6百万円の資金減少（前年同期は23億12百万円の資金減少）となりました。

以上に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ28億35百万円増加し、170億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績等を勘案して前回（2020年8月6日）公表の予想数値を一部修正しており、通期の連結業績につきましては、売上高855億円、営業利益61億円、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益49億円をそれぞれ見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,169	17,004
受取手形・完成工事未収入金等	26,004	17,744
未成工事支出金	6,007	7,704
材料貯蔵品	310	368
その他	2,560	2,199
貸倒引当金	-	△6
流動資産合計	49,051	45,016
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,774	8,862
機械、運搬具及び工具器具備品	19,358	19,585
土地	14,195	14,141
建設仮勘定	751	1,123
減価償却累計額	△20,275	△20,810
有形固定資産合計	22,805	22,900
無形固定資産	463	445
投資その他の資産		
その他	2,335	2,266
貸倒引当金	-	△0
投資その他の資産合計	2,335	2,266
固定資産合計	25,604	25,612
資産合計	74,656	70,629

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,632	18,673
短期借入金	472	407
未払法人税等	558	467
未成工事受入金	5,216	7,138
完成工事補償引当金	15	15
工事損失引当金	44	34
賞与引当金	1,267	1,455
その他	2,701	1,895
流動負債合計	33,908	30,087
固定負債		
長期借入金	300	150
退職給付に係る負債	3,742	3,442
その他	72	131
固定負債合計	4,114	3,724
負債合計	38,023	33,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	510	519
利益剰余金	35,480	35,593
自己株式	△71	△40
株主資本合計	37,919	38,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	1
為替換算調整勘定	△16	△103
退職給付に係る調整累計額	△1,267	△1,153
その他の包括利益累計額合計	△1,286	△1,255
純資産合計	36,632	36,818
負債純資産合計	74,656	70,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	31,139	34,950
売上原価	27,298	29,937
売上総利益	3,841	5,012
販売費及び一般管理費	2,403	2,776
営業利益	1,438	2,236
営業外収益		
受取配当金	2	2
業務委託料	8	11
受取賃貸料	12	12
雑収入	10	18
営業外収益合計	33	44
営業外費用		
支払利息	5	1
支払保証料	17	23
雑支出	16	24
営業外費用合計	38	50
経常利益	1,433	2,230
特別利益		
固定資産売却益	0	88
受取補償金	9	-
負ののれん発生益	83	-
独占禁止法関連損失引当金戻入額	1,448	-
特別利益合計	1,541	88
特別損失		
固定資産売却損	10	1
固定資産除却損	17	8
減損損失	82	-
特別損失合計	110	9
税金等調整前四半期純利益	2,863	2,308
法人税、住民税及び事業税	238	301
四半期純利益	2,625	2,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,625	2,007

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,625	2,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	4
為替換算調整勘定	△50	△87
退職給付に係る調整額	97	114
その他の包括利益合計	44	31
四半期包括利益	2,669	2,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,669	2,038
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,863	2,308
減価償却費	648	904
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35	188
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△241	△299
独占禁止法関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,448	-
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	5	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	10	△86
有形固定資産除却損	17	8
減損損失	82	-
負ののれん発生益	△83	-
売上債権の増減額 (△は増加)	9,102	8,259
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△3,380	△1,696
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,506	△4,958
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	3,073	1,921
その他	△279	398
小計	8,891	6,952
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△8	△3
法人税等の支払額	△552	△336
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,333	6,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,210	△1,768
有形固定資産の売却による収入	1	148
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 (△は支出)	△126	-
貸付金の回収による収入	5	0
その他	△52	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,382	△1,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	99	△0
長期借入金の返済による支出	△1,231	△215
自己株式の取得による支出	△100	△0
配当金の支払額	△1,080	△1,891
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,312	△2,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,636	2,835
現金及び現金同等物の期首残高	15,735	14,169
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	696	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,067	17,004

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

個別受注の実績

	受 注 高	
2021年3月期第2四半期	39,547百万円	8.7%
2020年3月期第2四半期	36,378百万円	17.5%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期比較増減率

受注実績の内訳

(単位：百万円)

区 分		前第2四半期 (2020年3月期 第2四半期)		当第2四半期 (2021年3月期 第2四半期)		増 減		前 期 (2020年3月期)		
		金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%	
受 注 高	建 設 部 門	国内官公庁	11,997	33.0	12,030	30.4	33	0.3	34,771	42.4
		国内民間	17,344	47.7	20,289	51.3	2,945	17.0	30,730	37.5
		計	29,341	80.7	32,319	81.7	2,978	10.2	65,502	79.9
	製 品 部 門 等	7,037	19.3	7,227	18.3	189	2.7	16,432	20.1	
	合 計	36,378	100.0	39,547	100.0	3,168	8.7	81,934	100.0	